



CHIBA UNIVERSITY

日本高等教育学会第26回大会 大会校企画
千葉大学 国際未来教育基幹 高等教育センター共催

参加費
無料

— 公開シンポジウム —

大学の活性化と高等教育改革

2020年代に入り生じたコロナパンデミックという世界史的病疫の蔓延、他方で進むデジタル化（DX）は、大学の教育・研究活動に大きな変化をもたらしつつあります。制度的にも2022年の大学設置基準改正、国際卓越研究大学、地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ、理系転換基金の創設など、日本の大学のあり方を大きく変えるかもしれない新たな高等教育改革が次々に進められています。他方、近年の政策提言のなかで、有限な時間をどのように有効に活用し、大学の組織活動の活性化につなげるかという課題も指摘されています。

このようななか、「大学の活性化」という観点から、現在の高等教育改革や高等教育の動向を捉えなおすとき、「大学の活性化」のためには何が必要で、現在の高等教育改革の動向や大学、高等教育のあり方をどのように批判的に考察していけばよいでしょうか。研究、教育、大学と地域の関係という異なる視点から、幅広く議論します。

日時

2023. 6/11 日

13:45 ~ 16:45

申込期限 6/9 金

場所

オンライン配信

参加申し込み先 URL

https://zoom.us/webinar/register/WN_pW2lyMU8QRSuzG9dK7hVFQ



オンライン参加申込は
コチラから

講演



山極 寿一 氏



日比谷 潤子 氏



山本 健慈 氏



小林 雅之 氏

研究の観点から 山極 寿一 氏

（総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長、前社団法人国立大学協会会長、前日本学術会議会長）

教育の観点から 日比谷 潤子 氏（学校法人聖心女子学院 常務理事、前国際基督教大学学長）

大学と地域、地方に立地する大学の観点から

山本 健慈 氏

（学校法人大阪観光大学 理事長、社団法人国立大学協会参与・元専務理事、元和歌山大学学長）



中山 俊憲

コメント

小林 雅之 氏（桜美林大学 教育探究科学群長・教授、日本高等教育学会会長）

挨拶

中山 俊憲（千葉大学 学長）



小澤 弘明

司会

小澤 弘明（千葉大学理事（教育担当）・副学長、第26回大会実行委員長）

この公開シンポジウムは、日本高等教育学会第26回大会の一部として実施するものです
日本高等教育学会第26回大会についてはこちらから ▶ <https://jaher-web.jp/conference/26/>